

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 30 年度)

施設の名称	東大阪市産業技術支援センター	指定期間	27年度～	31年度
		指定の方法	単体施設を指定管理	
施設所管課	経済部 モノづくり支援室	連絡先	06-4309-3177	
設置目的	中小製造業等に対する技術支援などにより、産業の育成及び振興を図ることを目的とする。			
施設内容・業務内容等	市域の産業の振興のため、製造業等が抱える様々な技術課題について相談に応じるとともに、センターに設置している測定機器等を低廉な価格で利用に供するなどにより、市内製造業等の製品の付加価値化、技術の高度化への支援を行う。			
指定管理者	公益財団法人東大阪市産業創造 勤労者支援機構	連絡先	06-6785-3325	
人員体制	正規職員	人	パート・アルバイト	人
			その他	9人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	273	274	276	274	271
指定管理委託料(千円)	52,166	52,607	52,645	53,027	
利用状況	1 相談件数(件)	1,782	1,739	1,695	補足説明
	2 機器貸出件数(件)	2,379	2,344	2,273	補足説明
	3 ものづくり大学校受講者数(人)	110	103	106	補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	B	・災害や緊急時の対応のため、職員に対して危機管理マニュアルの周知徹底を求めている。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	・平成29年度財政援助団体等監査において、使用料の納付事務や備品管理、現金取り扱いに関する指摘を受け改善中である。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	・業務上のミスについて対応策及び職員への徹底を求めるとともに、業務上のミスに関する件数管理についても引き続き求めていきたい。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	・目安箱を設置することで利用者の声を収集しているが、形骸化しないよう、さらなる利用者の意見、要望及び苦情を収集するため、収集等の仕組みの構築を求めている。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	・各技術相談員で課題を共有し対応力を高めるとともに、外部施設とも連携して対応しており、施設の効果を最大限発揮するための取り組みは評価できる。 ・電力契約を個別契約に変更し、電気代を削減する取り組みを実施した。 ・自主事業においても、アンケートに基づく具体的な改善や地元高校との交流などを実施するなど、効果的な取り組みを行っている。 ・類似施設のサービス等の内容を分析し、業務の効率化に活かすことで、当施設の効果を最大限発揮する旨、指定管理者と検討を進めている。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	・個人情報の取り扱いや情報セキュリティについて、職員への周知徹底を求めている。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	・今後、指定管理者と協議を図り、早期に監査指摘事項の改善に努めていく。